

新宿の拠点再整備検討委員会（第16回）

1. 日時・場所

令和8年3月27日（金） 10:00～12:00

都庁第二本庁舎31階特別会議室27

2. 出席者

別紙 出席者名簿のとおり

3. 議題

【報告事項】

- (1) 第19・20回新宿駅周辺地域まちづくり協議会について
- (2) 西新宿地区再整備推進検討会について

【議事】

- (1) 新宿の拠点再整備検討委員会設置要綱の改定について
- (2) 第15回新宿の拠点再整備検討委員会の主な意見と対応について
- (3) 検討状況について
 - ①都市基盤（方針1～3）
 - ②空間・景観（方針4～7）
 - ③都市機能（方針8）
 - ④新技術等（方針9）
 - ⑤エリアマネジメント等（方針10）
- (4) 新宿グランドターミナル・デザインポリシー2026（案）について
- (5) 今後の進め方について

4. 配布資料

次第

- [資料1] 第19・20回新宿駅周辺地域まちづくり協議会の主な意見
- [資料2-1] 西新宿地区再整備推進検討会について
- [資料2-2] 西新宿グランドモール（4号街路）デザインコンセプト（概要版）（案）
- [資料3] 新宿の拠点再整備検討委員会設置要綱（案）
- [資料4] 第15回新宿の拠点再整備検討委員会の主な意見と対応
- [資料5] 検討状況と今後の進め方について
- [資料6] 基盤検討部会について（開催報告）
- [資料7] デザイン検討部会について（開催報告）
- [資料8] 新宿G Tエリアマネジメント協議会について
- [資料9] 新宿グランドターミナル・デザインポリシー2026（案）

5. 議事録

<報告事項(1): 第19・20回新宿駅周辺地域まちづくり協議会について>

(事務局より資料説明 [資料1])

<報告事項(2): 西新宿地区再整備推進検討会について>

(事務局より資料説明 [資料2-1、2-2])

[岸井会長]

○特に意見がないようなので、議事に入る。

<議事>

(1) 新宿の拠点再整備検討委員会設置要綱の改定について

(事務局より資料説明 [資料3])

[岸井会長]

○特に意見がないようなので、本日付けで要綱を改正する。

(2) 第14回新宿の拠点再整備検討委員会の意見と対応について

(3) 検討状況について

(4) 今後の進め方について

(事務局より資料説明 [資料4、資料5、資料6、資料7、資料8、資料9])

[東京都 建設局 道路保全担当部長]

○広場のエリアマネジメントについて、道路空間においては、ほこみち制度に移行する全体の流れがあるが、エリマネ協議会で議論されている中で、ほこみち制度以外の制度の活用等の議論があったのであれば、紹介してほしい。

[東日本旅客鉄道株式会社]

○現在、エリマネ協議会でも、西口・東口広場の利活用について、建設局と議論している状況であり、ほこみち制度のほかに都市再生特別措置法で解く方法について議論しているが、まだ結論は出ていない状況である。

[岸井会長]

○公共空間以外の民有地側と一体となった取り組みを目指した議論をしているので、民有地側もどうするのか、地権者の皆さんで議論して頂きたい。

〔国土交通省 関東地方整備局 東京国道事務所長〕

○地元から歩行者中心の空間創出による、歩行者や自動車の動きの変化に対する心配の声が挙がっていることに対して、影響がないことをこれまで確認しながら進めているのか。

〔岸井会長〕

○歩行者関係について、具体的に問題となっている箇所はあるのか。

〔国土交通省 関東地方整備局 東京国道事務所長〕

○具体的な場所は把握していないが、資料1にあるような地元からの声があり、今後、ほこみち制度等を活用することにより、道路の性質も変わってくることを踏まえ、気にしている。

〔事務局〕

○広域的な車両関係については、現在行っている街路事業も含めた車両動線・交通量の精査をしている段階である。

○一方で、現段階では基盤について決まっていない部分もあるため、それぞれ決まった段階で引き続き交通量の精査することを考えている。

○今後、色々な工事が錯綜していく中で、段階ごとの動線における課題・対策について、来年度以降に皆様と協力しながら進めていきたい。

〔岸井会長〕

○最終形だけでなく、途中経過もチェックする必要がある。

○東口における建築計画や駐車場、関連する車両の出入りの処理について警察と議論しているが、その内容が東口周辺エリア全体の交通処理と整合が取れているのか等、本委員会を対象にしている部分と西新宿全体・東新宿全体のエリアの整合性について、うまく調整しながら進める必要がある。

○西側において、先行して議論が進んでいる4号街路も含めて、途中段階・最終形のそれぞれにおいて、どのタイミングでどのような形状にするのか、少し深掘りしていきたい。

〔中井副会長〕

○東口の広域的な交通関連について、環状5の1号線が開通した整備効果等についての情報はどこか把握しているのか。

〔東京都 建設局 道路計画担当部長〕

○環状5の1号線の整備効果を測定する目的で、事業者である建設局において開通後6カ月ごろに調査を実施し、プレス発表を行っている。

○完全に安定した状況での調査については、現段階で行っていない状況である。

〔中井副会長〕

○新宿駅や東口駐車場への出入りを検討している中で、環状5の1号線ではない明治通りから入ってくる車両がほとんどと想定されるため、そのあたりの交通量が分かるようにして欲しい。

〔岸井会長〕

○東側の交通について、現在はどこが責任を持って議論を進めているのか。

〔事務局〕

○とりまとめは街路計画課で行っており、適宜、新宿区・開発事業者と調整している。

〔東京都 都市整備局 まちづくり調整担当部長〕

○デザインポリシーの改訂にあたり、情報発信の拠点として、これからセントラルプラザのデザインを検討していくとのことだが、直近地区だけでなく西新宿地区や東側のエリア・新宿御苑など、少し離れたエリアのことも意識してデザインを考えてもらえるとよい。

○追加された甲州街道前に連続した情報発信のイメージ図にあるように、甲州街道沿いも人の目を引くような設えになっていくことが想定されるが、歩行者の交通量もそれなりにある中で、歩行者空間機能を持ちながら情報を受け取る場所になることを考慮してデザインを詰めて欲しい。

〔事務局〕

○セントラルプラザにおける情報発信のデザインについて、P.21の右下の図のような重層的な空間を生かした情報発信をイメージしており、東口・西口においても同様の視点があることを意識して検討を進めていきたい。

○甲州街道沿いについて、交通流動も意識して、東京国道事務所と調整しながら検討を進めていきたい。

〔岸井会長〕

○デザインポリシーについては、本案で改訂を進める。

〔事務局より事務連絡〕

以上